

尿失禁，バビンスキー陰性，チアノーゼ出現死亡す。剖検にて右前頭葉，右視床，右頭頂葉に直径 2~3 cm の結核腫を認めた。なお両肺に高度の結核あり，また回腸より結腸にかけて結核性の潰瘍を多発性に認めた。脳膜はおかされず，大脳実質に比較的限局した結核腫を多発性に認め，卒中を思わせる症状を呈して死亡した 1 例を経験したので剖検所見とともに報告する。

19. 肺切除術後の疼痛対策—Atarax P 使用経験 越山健二郎・佐伯文太郎・安保純郎・田中英之（国療刀根山病外科）

術後の疼痛に対する適切な管理は，患者の苦痛を除去す

ることだけではなく，術後の合併症を防ぐ意味においても重要なものである。近年トランキライザーが麻酔の領域においても使用されるようになり，とくに前投薬としてそのすぐれた鎮静効果に関する報告が多いが，われわれは術後の疼痛対策として抗ヒスタミン性トランキライザーである Atarax を鎮痛剤と併用し，従来一般に行なわれている鎮痛剤単独使用と比較して，術後の鎮痛剤の節減ならびに鎮静に有効であり，術後管理および看護が容易となることを認めた。なお呼吸抑制，血圧低下等 Atarax によると思われる副作用はとくに認められなかつた。

訂 正

○Vol. 43, No. 2 (2月号) に誤りがありましたので，下記のとおり訂正いたします。

- 85 頁上から 2 行目 Susum Nukada → Susm Nukada
- 86 頁右段下から 17 行目 T 12 → Ty 2
- 87 頁右段上から 13 行目 17.2 日，皮下群 18.9 → 19.1 日，皮下群 18.5
- 88 頁 Table 3 の表頭中 21-day survivors/No. challenged → 21-day survivors/Number challenged
- 90 頁右段上から 4 行目 Serumund → Serum- und
- " 下から 16 行目 Nukada, E. → Nukada, H.